

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立関特別支援学校		
実 施 期 間	平成26年11月21日(金)・22日(土)		
実 施 概 要	学校祭の公開(ステージ発表・児童生徒の作品展示・作業製品の販売)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	141	人
	地域関係者	33	人
		計	174 人
実 施 状 況	<p>学校祭の公開においては、あらかじめポスターを作成して校内やスクールバスに掲示するとともに、パンフレットを近隣自治会へ配布して、開催の事前PRを行った。実施については、学習集団別に児童生徒の発達段階や障がいの状態を考慮し、多くの観客の前で、日頃の学習成果を盛り込んだ劇発表をステージにて発表した。</p> <p>高等部のバザーでは、高等部生徒が作業学習において制作した陶芸作品、カレンダー等の販売を行った。作業班ホームコースの生徒は、製造したクッキーやパンの販売だけでなく、喫茶コーナーを設置し、様々な来校者と触れ合いながら、日頃の学習成果を発表した。</p> <p>一方、中学部生徒会が中心となり、学校間交流の一環として岐阜市立藍川中学校の生徒とともに、共同制作したフラッグアートの紹介やステージ発表を共に鑑賞する交流も行った。また、高等部では学校間交流を行っている関高校生徒会が来校し、ステージ発表の見学、大道具の搬出や後片付け等のボランティアを通して交流を行った。</p>		
成 果 及 び 課 題	<p>ステージ発表やバザーを通して、児童生徒が学習の成果を精一杯表現する姿を地域の方々に見ていただき、当校の児童生徒や学校の取組を理解していただくよい機会となった。また、学校間交流やボランティア参加による交流を通して、地域の生徒との相互理解を促進することができた。</p> <p>当校は来年度、創立50周年を迎えることになり、50周年記念事業を行うことになる。学校祭も50周年記念学校祭として、開会式を記念式典と兼ね、オープニングセレモニーを行ったり、50周年記念にちなんだ発表や展示を行ったりすることが計画されている。卒業生や地域住民等より多くの人を巻き込みながら、関特別支援学校のことを広く理解していただくと同時に、児童生徒が母校やふるさとへの誇りや愛着をもてるような機会にしていきたい。そのために、セレモニーや発表等の工夫を行っていくことが喫緊の課題となる。</p>		